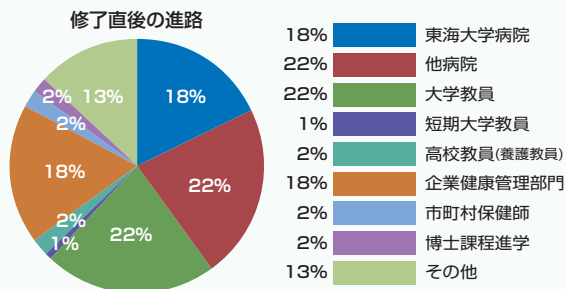


大学院修了後の進路

大学院修了後の進路は多様化が進み、2012年度までの進路先の累積では、4割が専門看護師・管理者として病院等の医療施設で、3割が大学教員として教育機関で、そして2割が産業保健師として企業健康管理部門で、それぞれ活躍しています。



最近の修士課程修了生の研究業績

在学中から学会での発表や論文投稿を積極的にサポートしています。最新の修士論文のテーマはウェブサイトに掲載しています。

- 齋藤とも子他：産業看護職による心理社会的職場環境改善支援と関係要因～必要な知識、技術およびその育成方法に着目して、産業衛生学雑誌、57巻4号、P117-129(2015年)
- 長谷川秀隆他：看護学科生と体育学部生の生活習慣の違いによる体脂肪蓄積についての生理学考察、弘前医療福祉大学紀要、第6巻1号、P43-54(2015年)
- 山川尚子：他動的足関節運動中の弾性ストッキングの圧迫力と筋酸素化状態の測定、日本集中治療医学会雑誌、第22巻、P545-547(2015年)

など多数

学費・奨学金

入学料	300,000円/入学時	※CNSコースは、別途実習費を徴収します。
授業料	735,000円/年間	
教育運営費	211,000円/年間	
施設設備費	200,000円/年間	
諸会費	6,000円*入学手続時 12,200円	
合計	1年 1,458,200円 2年 1,152,000円	

(2017年実績) 健康科学研究科の学費は、東海大学オフィシャルページでご確認下さい。

東海大学大学院奨学金	給付	看護学専攻各学年1名 720,000円/年
東海大学自己研鑽奨学金	給付	若干名 個人300,000円以内
日本学生支援機構	貸与	条件あり 50,000円～150,000円
その他の自治体、学会、財団等奨学金情報は教学課窓口で随時提供		

上記情報の詳細につきましては必ず、健康科学研究科ウェブサイトでご確認ください。

健康科学研究科ウェブサイト

URL:<http://mnwm.ihs.u-tokai.ac.jp/index.html>



健康科学研究科看護学専攻のサイト。大学院概要、教育目標、カリキュラム、入試情報、在校生や修了生の声など網羅した情報を掲載しています。



資料請求

入学試験要項(願書)、資料をご希望の方は、下記へご連絡ください。

▶お電話でお申し込みの方はこちらまで

東海大学 伊勢原教学課
TEL: 0463-91-1121(代表)

▶WEBからのお申し込みの方はこちらから

東海大学オフィシャルサイト
URL: <http://www.u-tokai.ac.jp/shiryu/index.html>



大学院概要

1999年4月に大学院健康科学研究科看護学専攻が開設され、2015年度現在、東海大学伊勢原キャンパスには、看護学、保健福祉学、医学および医学生工学の専門職養成課程がそろうています。少子高齢化などの課題に応じた医療・保健・福祉サービスのコーディネーションを、4つの大学付属病院も活用して、学際的かつ実践的に学ぶことが可能な環境です。看護学専攻では、高度な専門性を持つ専門看護師を目指す課程を含む10の専門領域において、研究指導教員のマンツーマンの指導に加え必要に応じて柔軟に他の専門教員の指導を受けることができるような体制をとり修士論文をサポートしています。

【お問い合わせ】東海大学 伊勢原教学課・大学院担当

- ▶お電話 TEL: 0463-93-1121(代表)
- ▶メール 送信先: ikyougaku@tsc.u-tokai.ac.jp



アクセス

▶交通 小田急線(新宿より快速急行55分、小田原より約30分)「伊勢原」駅下車、「東海大学病院行き」バス、または「愛甲石田駅行き」バス(約10分)で「東海大学病院」下車

<http://www.u-tokai.ac.jp/about/campus/isehara/index.html>



夢を叶える、必要な場所。

入学案内



健康科学研究科 看護学専攻



メイヨメディカルセンターのナースを迎えて



CNSコース

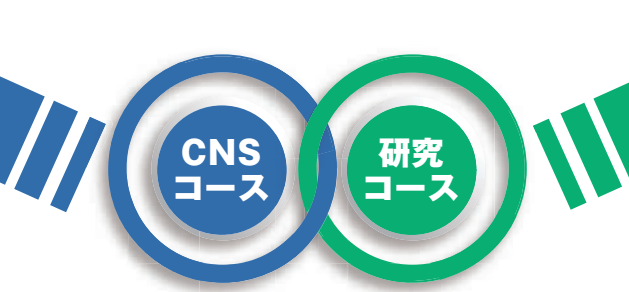
卓越した実践力を身につける

- ・遺伝看護学
- ・がん看護学

- ・家族看護学
- ・クリティカルケア看護学

教育の特徴

看護学専攻



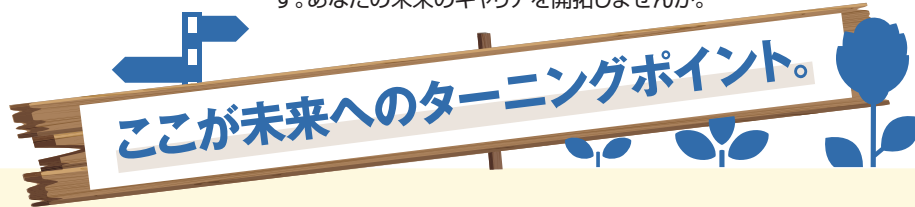
- 看護学専攻では、医療や社会の多様化による様々な課題に挑み、高度な看護実践スキル、看護学に寄与する研究能力と国際的視野を育みます。
- 研究能力の育成と各専門分野の基礎知識と応用力を身に付けられるカリキュラム構成
 - 国際看護が学べる学習環境(海外研修等)
 - 医学部付属病院等のメリットを生かした教育
 - 総合大学の特性を生かした教育・研究体制

研究コース

看護に寄与する研究能力を磨く

- ・看護基礎科学 (基礎看護、生命科学)
- ・産業・地域保健看護学
- ・看護管理学
- ・臨床実践看護学 (老年、在宅、精神、母性、小児、家族、遺伝、クリティカルケア、がん)

研究コースでは、看護学及び看護実践の発展に寄与するための研究能力、国際的な視野、学際的なチーム連携能力、高い倫理観に基づいた研究と実践ができる能力を備えた人材を育成します。将来、博士課程進学や大学教員を目指す道も開けます。あなたの未来のキャリアを開拓しませんか。



社会で活躍する先輩たち

実践家として育つ
附属病院看護師

堂園 幸子
がん看護学領域 2014年度修了

がん性疼痛認定看護師として東海大学医学部附属病院の緩和ケアチーム専従看護師として勤務しながら、がん看護専門看護師へとキャリアアップするために進学しました。在学中は職場と大学院のサポートを得て、個人として成長すると共に組織改革の視点を学ぶことができました。附属病院に戻り職場と大学院とも連携しながら実践・教育・研究と新たな課題に挑み続けています。



一歩を踏み出す勇気が
今の成長につながる

櫻井 大輔
家族看護学領域 2010年度修了

大学院進学の一歩を踏み出す勇気が、看護師経験で覚えた「何か家族が気になる」という漠然とした疑問を解決したいという思いでした。在学中は山ほど英語論文を読み、仕事と学業の両立に苦戦しました。大学院修了後、念願のCNS(家族支援専門看護師)資格を取得し、県立病院で組織横断的な実践・教育活動をしています。教授や先輩、ともに学ぶ仲間との存在に支えられながら学んだ2年の経験は、自分の看護師人生の糧となっています。



理論・実践・研究の
つながりを日々実感

須藤 ジュン
産業・地域保健看護学領域 2012年度修了

大学院で産業看護を体系的に学んだことで、それまでに培ってきた知識とスキルが補完され、理論と実践が繋がっていることを意識するようになりました。授業は現場経験を持つ仲間や指導教授とのディスカッションが中心で、視野が広がると共に活動のヒントを多く得られました。この学びをもとに実践課題や支援事例の研究に発展させ、積極的に発表していきたいと思います。

